



ぎふ清流GAP通信

第29号 令和7年11月25日
(一社)岐阜県農畜産公社
ぎふ清流GAP推進センター

■はじめに

令和7年度「ぎふ清流GAP評価制度推進研修会」を12月2日(火)に開催します。GAPを活用して生産性の向上やコスト低減などの経営改善や、働きやすい職場づくりに取り組んでおられる県内外の素晴らしい事例を学ぶことが出来ます。会場に余裕がありますので、ご興味のある方は当センターまで申し込みください。

この研修会で、県外の先進事例としてご講演いただく前田農産食品株式会社(前田茂雄社長・北海道本別町)を11月13日に訪問しました。併せて、14日に北海道産のGAP農産物の全国流通に取組まれている株式会社エプロン(前田政快代表・札幌市西区)で意見交換してきましたのでご紹介します。

■ぎふ清流GAP評価制度推進研修会

【日時】令和7年12月2日(火) 13時30分～16時30分

【場所】みの観光ホテル(美濃市松森)

1 県内事例発表

① 合資会社 源丸屋ファーム 曽我 康太 氏(下呂市)

GAPの取組みにより「ブラック企業」から「ホワイト企業」へ転換を図った事例紹介

② JA ぎふえだまめ部会 栗本 和弥 氏(岐阜市)

経営継承をきっかけにGAPの取組みを始めた事例紹介

③ 有限会社春見ライス 代表取締役 春見 秀則 氏(美濃加茂市)

農作業の事故をきっかけにGAPの取組みを始めた事例紹介

2 講演

「持続可能な農業経営にGAP改善はマスト！200%生産効率を向上せよ！」

<講師>前田農産食品株式会社 代表取締役社長 前田茂雄氏

■視察報告

1 前田農産食品株式会社

① 会社の概要

・開拓以来120年続く会社で、主な生産物は、小麦ポップコーン・ビート。全国のベーカリーに生産者の顔が見えるパン用強力粉の直売や、自社産ポップコーンの六次化を推進。

・ポップコーンは、電子レンジ専用商品「十勝ポップコーン」として、自社工場で通年製造販売。



【整理整頓された農薬庫内】

②GAP の取り組み状況

- ・2015 年にGLOBAL G.A.P認証を取得。
- ・大型トラックの荷台を活用した農薬庫内は、作目により農薬の保管場所を決め、倉庫中央に通路を設け、整理整頓。
- ・朝礼に加え夕礼を実施することで、日中発生した機械トラブル、作業上の課題を把握し、先を見越した翌日の作業の準備が可能。



【夕礼の説明をする前田社長】

③ GAP の取組みの成果

- ・GAP を販売に伴う付加価値とは認識せず、経営の基盤として実施。作業の効率化や作業環境の整備、品質向上が結果として売り上げや販路の確保につながる。
- ・GAP は 5 年間継続すると、明らかに他の農家との差が出てくる。経営に余裕ができ、次の展開(6 次産業化等)につなげられる。

2 株式会社エプロン

① 会社の概要

- ・北海道産の野菜や果物を全国の生協や量販店へ販売する流通企業。玉ねぎを中心、馬鈴薯、ブロッコリー、にんじん等を取り扱い。
- ・年間売上高 149 億円、従業員数 39 名。



【GAP の取組みの意見交換】

② GAP の取組み状況

- ・2018 年にJGAP団体認証(タマネギ)を取得。農家 10 戸、選果場 2 力所の団体事務局。

- ・社内にJGAP 指導員資格を持つ担当者を置いて、生産者を指導、助言。

③ GAP 取組みの成果、課題等

- ・農産物の流通企業として、ブランド力が向上する。
- ・課題は生産者の技術レベルや GAP 取組み意識の温度差の克服。また、消費者に対する GAP 農産物のPR方法にも課題を感じている。

■農場評価の申請について

- ・更新申請期限は 12 月末までです。対象となっている方は期限までに申し込み下さい。
- ・農林事務所においては、農場評価の申請に向けた支援をお願いします。

■「ぎふ清流GAP評価制度」に関する情報

Webサイト 検索 ぎふ清流GAP (岐阜県公式ホームページ)
制度の概要(要領・要綱の閲覧)、申請様式等のダウンロード、認証農場の紹介



■「ぎふ清流GAP通信」に関するお問い合わせ

(一社)岐阜県農畜産公社 ぎふ清流GAP推進センター
電話:058-216-1566 FAX:058-216-1567 メール:gifu-gap@gifu-notiku.com